

あたらしい絵本 No. 374 2020. 10. 20



『ポッポーきかんしゃ』 とよた かずひこ

・機関車がねこさん、いぬさんを乗せて走っています。ニャーニャー、ワンワン、ガタンゴトン、ポッポー。雨が降ってきました。ザーザー、ザーザー…。擬音が楽しい、赤ちゃんのためののりもの絵本。(幼0～2歳)



『あづかったらぬげばいい』 ヨシタケ シンスケ

・ヘトヘトにつかれたら、だれもわかってくれなかったら、せいかいかわってしまったら…。子ども、大人、おじいちゃんのさまざまな疑問に痛快に答える、ヨシタケ式心を緩める絵本。『MOE』付録絵本に加筆、再構成。(幼0～5歳)



『まほうのハッピーハロウィン』 岡田 千晶／絵

・こども会のハロウィン祭りの日、みのりは手作りのかぼちゃ風ドレスで参加します。初めて参加するあきとは、おかしをもらいに行っても、なかなか声が出せません。どうしたら元気がでるか考えたみのりは…。(幼0～5歳)



『ばんそうこうくださいな』 作／矢野 アケミ

・ばんそうこう屋さんを開いたうみちゃん。おでこを木にぶつけたかえるくんや、背中を虫に刺されたりすちゃん、おしりをかきすぎたさるくんに、ばんそうこうをはってあげました。へびくんもやってきましたが…。(幼0～5歳)



『くろくまくんあわあわてあらい』 さく・え／たかい よしかず

・お友達といっばいお外で遊んだ、くろくまくん。おうちに帰ってきたら、まず何をするのかな？ くろくまくんといっしょに楽しく、手洗いとうがいに親しめる知育絵本。(幼0～5歳)



『ばけばけばけばけばけたくん おかしの巻』

ぶん・え／岩田 明子

・くいしんぼうのおばけ、ばけたくん。今度はおかし屋さんでつまみぐい。チョコレートを食べると…。次々に子どもの大好きな食べものにばける「ばけたくん」と、リズム感のある文章が楽しい絵本。(幼0～5歳)



『どうしてしっぽがないの?』 いもと ようこ／文・絵

・「しっぽがなくっちゃ本当の友達じゃないよ！」ぬいぐるみの動物たちから仲間外れにされたありさちゃん。ある日、おばあちゃんに着物の赤い帯をしめてもらうと…。やさしくて、あったかい、いもとようこの絵本。(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『あかいしろくま』 作・絵／柴田 ケイコ

・食べることが大好きな、くいしんぼうのしろくまは、「あかい食べもののなかに入ったらどんなかんじかな？」と想像してみることにしました。いちご、りんご、伊勢えび…。どうなるかな？ 「しろくま」シリーズ第6弾。
(幼3～5歳)



『これがぼくらにぴったり!』 アーノルド・ローベル／え

・靴ひもがきれて、新しい靴ひもを買ったロンソンさん。歩きだすと、新しい靴ひもなのに靴がおんぼろなのが気になって、新しいものを買います。でも家に帰ると奥さんは…。ロンソン夫妻が見つけた「ぴったり!」なくらしとは？
(幼3～5歳)



『おむすびころりんはっけよい!』 ひろかわ さえこ／絵

・さんかくおむすびの国と、まんまるおむすびの国は、いがみあっていました。いさかいはひろがり、とうとう、とのさまどうしの相撲で、決着をつけることに。そして、手に汗にぎる一戦の結末は一。
(幼3～5歳)



『あ』 え／ひろせ げん

・ひとりぼっちの「あ」。「お」がやってきて、「あお」になると、あおぞらが広がり…。文字と文字の組み合わせで言葉が生まれ、物語が生まれる。「あ」からはじまる、ひらがなあそびの絵本。
(幼3～5歳)



『サディがいるよ』 ジュリー・モースタッド／絵

・サディは想像するのが大好きな女の子。海の中に住む女の子になったり、オオカミに育てられた男の子になったり。サディには、やりたいこと、なりたいものがありすぎて…。そんなサディのお話。
(幼3～5歳)



『恐竜トリケラトプスとティラノきょうだい』

黒川 みつひろ／作・絵

・トリケラトプスの親子が、草食恐竜マイアサウラの親子に出会った。マイアサウラの親子は、若いティラノサウルスに狙われていて、えさも取りにいけない…。楽しい恐竜絵本。
(幼3～5歳、小初)



『ねずみさんのおおきな木のおうち』 え／serico

・おおきな木の中にある、ねずみさんのおうち。リビングや台所、お風呂…。ねずみさんの楽しい毎日をそーっとのぞいてみよう! マドをめくりながら、ねずみさんのおうちを探検する楽しいしかけ絵本。厚紙絵本。
(幼3～5歳、小初)



『ねむれなかったらやってみて!』

ぶん・え／オーレリー・シアン・ショウ・シーヌ

・がんばっても眠れないとき、ただ待つよりも、「息の仕方」で眠れるとしたら、どう? フランスの児童心理学から生まれた「気分を整える呼吸セラピー」をやさしく紹介。自分の機嫌を自分でとれる子に育てる絵本。
(幼3～5歳、小初)